

# 令和3年度 事業報告書

公益財団法人婦人児童問題研究所

公益財団法人婦人児童問題研究所の令和3年度における事業の概要について、次のとおり報告いたします。

## I 事業の状況

当財団は、体操・新体操を中心に青少年の健全な育成を目的とし昭和25年に設立され、体操教室や新体操教室を中心とした体育関連の教室の運営及び、体育館・体操場・研修施設の運営を行ってきた。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあったが、休業等は行わず施設の利用者も回復した。体操・新体操教室においては、参加者が順調に回復した。施設運営事業においては、研修及び合宿は中止した為、令和2年度同様、収益は回復しなかった。

### 1. 公益目的事業【公1】

#### (1) 体操教室・新体操教室

##### ア. 体操教室・新体操教室開催実績

当法人の主要事業でもある体操・新体操教室は青少年の健全な育成を目指し、令和3年度も実施された。新型コロナウイルスの影響もあったが、児童生徒及び参加者は順調に増加し回復した。また、令和3年度は多くの試合及び大会が開催され、多くの生徒が参加し優秀な成績を収めた。

主な出場大会： 令和3年度 全国高等学校総合体育大会 体操競技 (2名出場)  
第52回 全国中学校体操競技選手権大会 (2名出場)  
令和3年度 第41回九州ブロック大会体操競技少年の部 (3名出場)  
第16回 全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会 (6名出場)  
令和3年度 第35回九州小学生体操大会 (9名出場)  
第37回 福岡県ジュニア体操競技選手権大会 (25名出場)  
全九州小学生新体操県予選 (13名出場)  
第26回福岡県新体操選手権大会 (13名出場)  
第42回福岡市ジュニア新体操大会 (23名出場)  
第35回九州小学生体操大会 (1名出場)  
第35回市民総合スポーツ新体操大会 (27名出場)  
サンックスCUP国際新体操団体選手権2021 (25名出場)  
第1回アザレアカップジュニア新体操大会 (10名出場)

##### イ. 体操新体操合宿

当法人が毎年行っている春休み・夏休み・冬休み等に行っている合宿は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は実施できなかった。合宿の代わりとして、春休み及び夏休みの期間に、短期集中トレーニングを2日から3日間、各クラスごとに実施した。

##### ウ. 体操新体操演技発表会

本大会は、当法人が年に一度行なっている大会である。体操、新体操教室で1年間、練習してきたことの集大成を発表する場として行ってきたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により福岡市南体育館が利用できなかった為、当施設の体育館でクラスごとに縮小した形

で演技を披露した。

(2) 施設の貸与

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、全ての研修及び合宿の受け入れを中止した。

(3) 大会の開催

グリーンカレッジ杯ジュニア新体操大会

本大会は、福岡県のジュニア新体操の普及と発展とともに、平成6年より行われている大会で、福岡県内の各団体から厳正に選ばれたジュニア選手が多数参加する大会である。当施設は本大会にこれまで長い年月に渡り、ジュニア新体操の普及と発展という目的に寄与して参りました。そして、本大会の目的が達成されたとし、令和元年度の大会をもって本大会を終えることとした。

2. スポーツ指導及び健康教室事業【収2】

(1) ベビー体操教室

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により退会者が増加し、会員が減少した為、授業を実施できなかった。

(2) アクロバット教室

体操の基本動作からばく転やアクロバット技を専門的に習得する教室であり、アクロバットにも関連するスポーツであるチアリーディングの生徒なども多く受講している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、会員が若干減少したが年間を通して実施出来た。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
アクロバット教室	96回	1035名

(3) ダンス教室

ダンス教室は、令和3年度も授業を実施できなかった。

(4) きらきらサロン(ストレッチ教室)

地域住民の健康増進を目的とした事業として中高年齢者の運動不足や生活習慣病の改善を図るために、専門の指導員によるストレッチやリンパマッサージを行い、健康的な生活習慣を身に付くよう指導を行った。マッサージの後は地域の皆様の交流の場所として当施設を活用した。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあったが、開催することができた。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ストレッチ教室	48回	225名

(5) 放課後等デイサービス

特別に支援が必要な小中高生を対象に、当法人の体操専門の指導員による体操指導やスポーツ指導を通じて、児童生徒の発育発達を促すとともに、放課後や長期休暇中において療育の場(日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等)を提供し、障害のある児童生徒や保護者への支援に大いに役立てた。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあったが、受講者は回復した。

教室名	開催日数(年間)	受講者数(年間)
こどもスポーツひろば	290回	3015名